

例会報告 Rotary



2022-2023年度
RIテーマ

第2681回例会
令和4年9月30日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

イマジン ロータリー

高山3RC合同 ガバナー公式訪問例会

高山3RC合同ガバナー公式訪問例会

9月30日(金) 12:30~ 高山グリーンホテル

＜プログラム＞		司会進行 高山西RC幹事 大村 貴之
点 鐘	高山西RC会長	垣内 秀文
ロータリーソング	奉仕の理想	
ゲストの紹介	高山西RC会長	垣内 秀文
国際ロータリー第2630地区	ガバナー	高橋 伸治 様
国際ロータリー第2630地区	パストガバナー	桑月 心 様
国際ロータリー第2630地区	パストガバナー	剣田 廣喜 様
国際ロータリー第2630地区	濃飛グループAG	奥村 幸夫 様
国際ロータリー第2630地区	代表幹事	山岡 利安 様
国際ロータリー第2630地区	幹事	辻 博文 様
地区委員の紹介	濃飛グループAG	奥村 幸夫 様
国際ロータリー第2630地区	ロータリーの友委員会委員	二木公太郎 様
国際ロータリー第2630地区	研修委員会委員	北川 由幸 様
国際ロータリー第2630地区	国際奉仕委員会委員	蓑谷 雅彦 様
国際ロータリー第2630地区	社会奉仕委員会委員	清水 幸平 様
国際ロータリー第2630地区	ロータリー財団部門補助金委員会委員	長岡 俊輔 様

食 事	
会長の時間	高山西RC会長 垣内 秀文
出席報告	各クラブ出席委員長
ニコニコボックス	高山西RCニコニコ委員長
歓迎の挨拶	高山中央RC会長 中田 学
ガバナー紹介	奥村 幸夫ガバナー補佐
ガバナー卓話	
謝 辞	高山RC会長 蓑谷 雅彦
点 鐘	高山西RC会長 垣内 秀文
写 真 撮 影	3RC合同

＜会長の時間＞

高山西RC会長 垣内 秀文

皆様こんにちは。3クラブを代表しましてご挨拶をさせていただきます。高山西ロータリークラブの58代会長を未熟ながら務めさせて頂いております垣内と申します。今年度が始まって今日で3ヶ月が過ぎようとしていますが、ようやくクラブ例会の会長の時間に余裕が出ていたのですが、どうやら今日は様子が違うようです。ロータリーの友情は有ると信じています、どうぞ温かい目で見守って下さい。

一ヶ月半前に行動制限のないお盆があり、感染拡大を心配していましたが、このところ落ち着いてきており、準備にあたりヤキモキしておりましたが、本日3クラブ合同ガバナー公式訪問例会を3年ぶりに開催できることを心からお喜び申し上げます。ガバナー・高橋伸治様、ガバナー補佐・奥村幸夫様、地区代表幹事・山岡利安様、地区幹事・辻博文様をはじめ、先程ご紹介されました地区役員の皆様には、大変お忙しい中、出席頂きましてありがとうございます。本日はご指導のほど、よろしくお願ひ致します。



尚、会場であるグリーンホテル様におかれましては、十分な感染対策をとって頂いておりますので、まずもってご安心頂きたいと思っております。

本年度の2630地区方針は「ロータリーの心と原点」を大切に、描こう明るい未来を」で「ロータリアンの成長こそが日本ロータリーの未来を創る」とされています。高橋ガバナーは世界のロータリーが人道奉仕活動を益々強くする傾向であり、「ロータリーの原点」を大切にしてきた日本のロータリーはその文化を守っていかねなければならないと、すなわち時流をよく読み、誇りを持って平和な未来の実現を想像し、歩んでいく事こそが日本の「イマジンロータリー」と述べておられます。

2022~23年度、蓑谷会長の高山クラブは「新たな輝きを！」中田会長の高山中央クラブは「イマジンからアクション、止まった時間を動かそう」そして我が高山西クラブの「未来を見据え更に親睦を深め、皆でクラブを再活性化しよう」と、スローガンを掲げております。それぞれのクラブがコロナ禍で思うようにできなかった親睦活動を活発にし、会員の結束をさらに高め、中長期的にクラブの方向性を見極め次期、次々期に向けて会員増強で仲間を増やし、そして新会員を育て上げて、高橋ガバナーが述べられているように、会員全員がロータリアンとして、更に成長して地域、社会に貢献できるクラブとして在り続けることが肝要と考えており、これは我がクラブの先輩の中で培われた私自身の「ロータリー観」によるものと自負しています。

本日の公式訪問を糧にして高山の3クラブの益々の発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして簡単ではございますが、ご挨拶並びに会長の時間に代えさせていただきます。

＜ニコニコボックス＞

国際ロータリー第2630地区
ガバナー 高橋 伸治 様

国際ロータリー第2630地区
代表幹事 山岡 利安 様

本日は高山3ロータリークラブ公式訪問例会に伺いました。どうぞよろしくお願ひ致します。

国際ロータリー第2630地区 濃飛グループガバナー補佐 奥村 幸夫 様
本日、ガバナー公式訪問お世話になります。一年間よろしくお願ひいたします。

高山RC 蓑谷 雅彦 会長、高山西RC 垣内 秀文 会長、高山中央RC 中田 学 会長

国際ロータリー第2630地区 ガバナー 高橋 伸治 様、濃飛グループガバナー補佐 奥村 幸夫 様、地区代表幹事 山岡 利安 様、地区幹事 辻 博文 様のご来訪を歓迎いたします。本日はご指導よろしくお願ひいたします。またパストガバナーならびに地区委員会委員の皆様、本日のご出席ありがとうございます。



例会報告

＜歓迎の挨拶＞

高山中央RC会長 中田 学

本日は、大変ご多忙の中、高橋ガバナーをはじめ、多くの地区役員の皆様へ、高山の地に、お越しをいただき、心より歓迎申し上げます。

また、高山市内、まだまだ、コロナの感染拡大が落ち着かない中、このように、たくさんの皆様にお集まりいただき、盛大に、高山3ロータリークラブ合同でガバナー公式訪問例会を開催させていただきますこと、心より感謝申し上げます。

今年度、高山中央は、イマジンからアクション、止まった時間を動かそう、をテーマとしています。コロナ禍、事業の中止が続いてきた中、3年振りに、この合同例会が開催され、まさに、止まった時間が動いたこと、大変うれしく思っております。

毎月の「月信」では、高橋ガバナーからのメッセージを拝読させていただいておりますが、コロナ禍、バーチャルでの会合が多くなってきた中、このように、リアルで、フェイス・トゥー・フェイスで、お考えを拝聴できる機会をいただけたこと、大変ありがたく思っております。

大所・高所からのご指導をお願いして、歓迎のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。



＜ガバナー紹介＞

濃飛グループガバナー補佐

奥村 幸夫 様

高橋ガバナーのご紹介をさせていただきます。岐阜ロータリークラブに1999年入会され、地区国際青少年交換委員、地区幹事、クラブ幹事クラブ会長を経験され、今期ガバナー就任ということでございます。職業は金属加工業ということで、高橋金属その他関連会社を経営されております。岐阜商工会議所、法人会、岐阜流通センター連合会の会長をはじめ、その他学校法人の理事もされております。ゴルフも嗜まわれるということですが、この年齢に関わらず、スキーもまだ現役で頑張っておられるという、本当にスポーツ万能でいらっしゃいます。業界関連、そして地域活動に常に前向きに取り組まれておられます。「ロータリーの心と原点」を信念として取り組んでおられます。心と原点ということで、私も改めて勉強させていただきました。明るく話しやすく、気さくで明朗快活なガバナーです。以上です。ありがとうございました。



＜ガバナー卓話＞

ガバナー 高橋 伸治 様

皆さん、こんにちは。ただ今過分なるご紹介いただきました高橋でございます。昨日は三クラブの会長幹事さんとある料亭で懇親を深めまして、これで明日の会長幹事懇談会は不要かな、って位に非常に和やかな雰囲気皆さん

のクラブの実情を聞かせていただきました。今日はホストを務めていただきました、高山西ロータリークラブの垣内会長はじめクラブの皆様、本当に立派な公式訪問を開催していただきましてありがとうございます。また、私の大先輩であります。桑月パストガバナー、



そして釧田パストガバナー、ご臨席いただきましてどうもありがとうございます。実は私、釧田パストガバナーが最初のガバナーやられた2016年にちょうど私クラブ会長になりまして、この高山でPETSとか地区研修協議会を受けております。非常にこの高山は思い出の場所でございます、まさかガバナーと言う立場で、ここでお話をすると夢にも思っておりませんでした。そして同時に、先程ご紹介いただきました奥村ガバナー補佐もちょうど私と同期でクラブ会長をやっております、2016年同じくこの高山の地でPETSを受けておったという仲でございます、ガバナーとそしてガバナー補佐という立場で、二人セットで高山に来てお話ができるって本当に嬉しいなあというふうに思っておる次第でございます。

ガバナーのポジションはR Iの役員の一でございますので、最初にはR I会長のご案内ご紹介とか、あるいは会長テーマ、またR Iの戦略計画について、われわれ国際協議会で勉強したりしてきた内容を話させていただきながら、現在いわゆる世界のロータリーがどのような方向付けで考えているのかということと、同時に先ほどもチラッと垣内会長がお話しされましたけど、日本としてどうしていくのか、あるいは2630地区として、どのような方向性を持って今後地区運営していくかと言うことを、地区のスローガンとそれから地区の活動方針等々お話をさせていただくということでございます。ちょっと硬い話になってしまうのかなと思いますが、どうぞお付き合いのほど宜しくお願いしたいと思います。ではパソコンを使いながら卓話をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

まず最初に今年度のR I会長を紹介させていただきます。名前は、ジェニファー・ジョーンズ、所属クラブ：カナダ ウインザー・ローズランドRC。職業はラジオやテレビ番組の制作、企業の動画の制作などを専門にするMedia Street Production Inc.の創業者で現在社長。ウインザー大学の理事長、ウインザー・エセックス地域商工会議所会頭を歴任。ロータリー歴は1997年入会。RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任。超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。アーチ・クランフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員。

1905年にロータリーが誕生して以来 117年目にして初めて女性のR I会長の誕生という事で、今年度はロータリーの歴史に残る年度となります。パートナーのご主人もロータリアンで、職業は内科医。2024-25年のガバナーに決まっています。

RI会長のスピーチは、以下の通りです。

「私たちがベストを尽くせる世界」を想像して下さい
やさしさ、愛、希望、平和を想像して下さい。
イマジンとは、未来を描くことです。

その未来の夢を実現するために行動するかどうかを決めるのは私達です。

その実現のためにロータリーのつながりと力を生かしましょう。と私たちに呼びかけられました。

今、ウクライナで毎日起きている悲惨な状況が続いています。私達ロータリアンは想像力を働かせ、ウクライナ支援の為に何が出来るのかを考え、行動に移す時なのかもしれません。詳しいスピーチの内容については、7月号の月信をお読みください。

今、ご覧いただいた会長スピーチに出てきましたが、今年度のR I会長テーマは「イマジンロータリー」であります。そして「ロゴ」になります。色についてですが、パープルはポリオ根絶、グリーンは環境、白は平和をイメージしています。パープルの輪は人々のつながり、輪の周りの点は、集まっている人々、それと7つの重点分野、輪と点との組み合わせは、私たちの行く先を先導する星をイメージしています。下のグリーンは、ロータリアンが奉仕活動に立ち向かう時に使う道具をイメージしています。

例会報告

それでは、次にRIの戦略計画について話をさせていただきます。4つの項目があります。

1つ目は、ビジョン声明です。RIは、2016年、2019年の規定審議会においてクラブ運営・組織運営に大幅な革新性・柔軟性を取り入れ、入会のハードルを下げることによって、会員の減少を食い止めると同時に、増強を図ってきましたが、減少が止まりませんでした。

そこで、RIは、ロータリーを拡大していくためには共通した方向性とロータリーが目指す姿を、世界中のロータリアンに示す必要があると判断し、2019年にビジョン声明を発表しました。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

2つ目は、このビジョン声明を達成するために今後5年間の戦略的優先事項として4つの行動計画が発表されました。

「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」

「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」

という内容です。

そして、ここで重要なことは

「より大きなインパクトをもたらす」には参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促す必要があり、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促すためには、地区やクラブも「適応力を高め」、地域社会のニーズに合った適切な運営が必要になってきます。つまりこれらの4つの行動計画は「一つにもの」として考えなければならないという事です。このことは大事なことでですのでしっかり理解しておいて下さい。

3つ目は、ロータリアンの基本となる行動指針を記した「奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ」といった中核的価値観です。世界中のロータリアンが共有する最も重要な価値観です。今後、戦略計画の内容が変わったとしても、中核的価値観は不変です。

4つ目は、今年度の重点テーマとなっております2019年に理事会が採択したDEI。つまり「多様性・公平さ・インクルージョン」の推進であります。つまりRIの方針として、ロータリーは、すべての人に、尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳を傾け、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会をもうける事に力を注いでいくという事を表明しています。

ダイバーシティ（多様性）とは：あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎するという事です。エキويتي（公平さ）とは：クラブ会員の公平な扱いと、機会の均等を保つように努めるという事です。インクルージョンとは：簡単に言うと帰属意識の事です。あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるインクルーシブなクラブ環境づくりに力を注いでいくという事です。

ここで、「平等」と「公平」の違いが分かりにくいと言う方が見えますので、説明します。

平等 (Equality) とは、個人の違いは視野に入れず全員に平等なものが提供される事。公平 (Equity) とは、個人の違いを考慮し、それぞれに公平な機会が提供される事。そして、ダイバーシティとインクルージョンとはこの右下の絵のようなことを言っています。つまり、誰もが活躍できる組織ということです。

それでは、なぜRIがDEIの導入が必要であると言っているのかと申しますと、

①戦略的優先事項である「4つの行動計画」を推進するためには「DEI」の導入は必要である

②現在、会員数が伸び悩んでいる中、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるためには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織にしていく事が必要であると考えるからです。

現実には、毎年約15万人ほどの新入会員が入ってきても、同じくらの数の会員が裏口から出て行ってしまいます。そして、その退会者の50%が入会3年未満の会員であるというのが現状です。ロータリーの良さを理解しないまま退会してしまう事は、ロータリーにとっては大変大きなマイナスであります。

このような状況を改善するためには、すべての会員がロータリーと強いつながりが実感でき、クラブに対して心地よさを感じる事、そして、会員への配慮が必要であります。つまり、クラブの成長には、インクルーシブなクラブ環境が必要であるとRI会長は言っています。クラブ一丸となって、このような「インクルーシブなクラブ環境づくり」に力を注いでいただき、会員増強・退会防止につなげていっていただきたいと思っております。ロータリーの最大の財産は、「会員」であります。どうぞよろしくお願ひします。以上、4項目がRIの戦略計画の内容となっております。

次に、RIの基本方針について報告します。

まず一つ目は

① ロータリーの成長がRIの戦略計画の重要な要素であります。歴代RI会長のスピーチの中にも「成長」つまり (Grow) という言葉がよく出てきます。ジュニア・ジョーンズRI会長は、「いつも笑い、夢を描き、希望を抱き、そして成長しよう」と言っています。Do More Grow More (シュカールメーター元RI会長) のように「成長」という言葉がRIのキーワードになっています。そして

② ロータリーの最優先事項は、ポリオ根絶活動であります。ポリオ根絶運動はロータリーが世界に誇れる人道的支援活動であります。今までに2,000万人以上の子供達を小児麻痺から救ったと言われております。現在、ポリオの発症例は、アフガニスタン、パキスタンの2国を残すまでとなり99.9%の達成が報告されあと一歩のところまで来ています。

③ 最重要事項は、会員増強であります。

これは、ロータリーの成長を支えるためには会員増強は重要なテーマという事です。

以上が、RIの基本方針であります。

しかし、これが、最近のロータリーは「金集め」「人集め」の団体になったと言われる原因にもなっているのも事実でないでしょうか？

それでは、次にガバナー方針であります地区スローガンについて発表させていただきます。まず、その前に、近年のロータリーの現状を理解してもらうためにRIを含む世界のロータリーの現状と、今、RIが目指そうとしている方向性とはどういうものなのかについて報告させていただきます。

要するにRIは、ロータリー財団と一体となり、「奉仕の実践」に重点を置き「世界で良いことをしよう」そして、「ロータリアンは世界を変える行動人」を旗印に世界有数のボランティア団体を目指そうとしています。これが今のRIの現状です。今回の「ビジョン声明」・最近のRI会長のスピーチにもこのRIの方向性がよく表れています。

先進国の会員が減少して、発展途上国の会員が増加していく現状を考えると、人道的支援活動を中心としたロータリー活動が、これから益々RIの活動の中心となる傾向にあると思っております。

ロータリー運動を最もよく表す「ロータリーのキャッチフレーズ」がご覧の様になりました。

1947～2013年までは

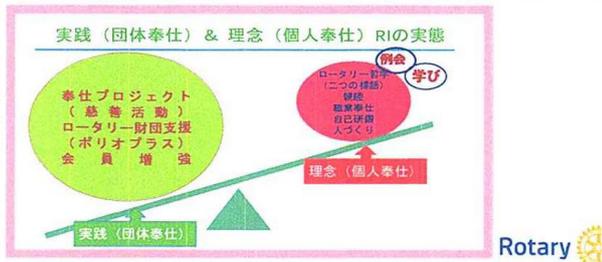
「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」

「入って学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、突如2014年からこの様に「JOIN LEADERS、 EXCHANGE IDEAS TAKE ACTION」に変わりました。リーダーのネットワークを広げ、アイデアを交換し、行動しようであります。

例会報告

つまり、「学ぶことより、まずは行動しよう」がロータリー運動の前面に出てきたという現れです。この様に、今のロータリー運動は「奉仕の理念を学ぶ」より「奉仕の実践」に力点を置いた内容に変わってきている。という事です。つまり、RIを含む世界のロータリーの現状を私流に図で表すとこのような感じになります。「理念より実践」の様に見えます。

地区スローガン「RIを含む世界のロータリーの現況」



もちろん人道支援活動はロータリーの重要な奉仕活動でもあり、ロータリー財団が目標とする7つの重点分野でもあります。助けが必要な人がいれば、手を差し伸べることはロータリーにとって当然の事であり、こうした人道支援活動の成果があってこそロータリーの認知度が上がり、仲間が増え、奉仕の輪が広がっていくという事に間違いはありません。

決議 23-34 第4条にも、「奉仕する者は、行動しなければならぬ。従ってロータリーとは単なる心構えの事を言うのではなく、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない」と謳ってあります。

ポールハリスは、ロータリーの奉仕と言えば、その根源は人格の向上である事は間違いありません。しかし、その心の改善を実証するためには、すべての点において行動しなければなりません。

「奉仕の心を行動へ、行動するにはまず心である」と言っています。

つまり、ロータリーの基本は個人奉仕であるが、時と場合によっては団体奉仕も必要であるという事です。

しかし、最も大切なことは、ロータリーはただの奉仕団体ではないという事です。その根底には、100年以上にわたって先人達が培ってきた、親睦と職業奉仕理念を根幹としたロータリーの基本理念があります。そして、ロータリーは、これらを土台とした倫理運動体という教育的要素を持った団体でもあるという事です。ロータリーの本質は、人に寄り添い、人間が本来生まれながらに持っている「人のために役立つと思う・利他の心」を養い、親睦・奉仕の実践を通じて自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った「真のロータリアン」を育てることです。そして、その学びの場所が「例会」であるという事です。

米山梅吉翁は、「例会は人生の道場」と言いました。「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神のもと、「心を育て、人を育てる」のがロータリーであります。

また、ロータリアンにはもう一つの役目があります。それは、日常生活・職場・地域社会においてロータリアン以外の人たちと「奉仕の理念」を分かち合い、職業倫理・道徳・奉仕の理念を広めていかなければならないという事です。つまり、ロータリーの外部での「人づくり」であります。こうした事もロータリアンとしての大事な責務であります。

RI 歴代会長は次のように言っています。

1954-55 年度 RI 会長 Herbert Taylor

Rotary is maker of friendship and builder of men

「ロータリーは友情を育み、人を作る。 人格者を育てる

1974-75 年度 RI 会長 William Robbins

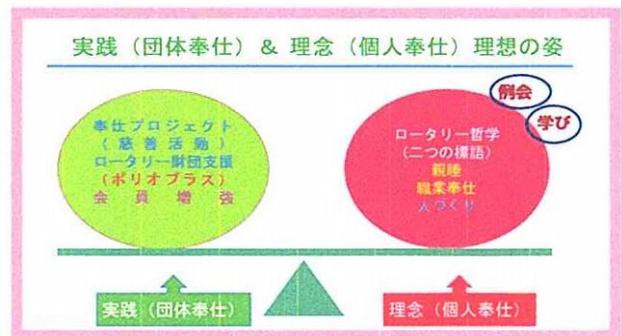
Rotary's first job is to build men

「ロータリーが最初に行うべきことは人づくり」

ロータリーの価値は、クラブの規模や会員数ではなく、クラブが如何なる人を育てたかによって測られる

そこで、私が考える理想的なロータリー活動とは、どういふものかと申しますと、中核的価値観を基盤に、「心を育て、人を育てる」といった「奉仕の理念」と「奉仕活動」といった「奉仕の実践」をうまくバランスを図りながら活動していく事であると思っています。

米山梅吉翁も、ロータリーは理論と実践の調和の中に宿る。理論も大事ではあるが、実践も大事である。しかし、実践を強調するあまり理論を軽視する事はダメ、とも言っています。マネジメントの父と呼ばれた、ピーター・ドラッカーも、「実践なき理論は空虚であり、理論なき実践は無謀である」と言っています。つまり、理想的なロータリーとは、図で表しますとこのようなバランスの取れた感じになります。



ロータリーは、先ほど話をしましたように過去 20 年間様々な戦略計画を立て、会員増強に励んできましたが、会員は、約 120 万人をピークになかなか増えていません。先進国の会員数が減って、その分を発展途上国の会員数の増加で補っているのが現状です。

今こそ、私達は、原点に立ち返り、創立者であるポールハリスが、あるいは、米山梅吉翁がどのような「想い」でロータリークラブを作ったのか、そして、ロータリーの基礎を築いてきた先人たちの足跡を振り返ってみる必要があるのではないかと思います。

現在のように「成長ありき」の戦略計画を立て、ルールを緩和し、人道的支援活動に重点を置いた RI の方針は、益々ロータリーの本来の魅力をなくし、「ロータリアンとしての誇り」が失われていくように感じています。私たちは、世界のロータリー活動が「学びより実践に重点を置いた」状況の中、より一層「ロータリーの心と原点」を大切に、理念と実践の調和を図りながら、先人達が 100 年の歴史の中で培ってきた日本のロータリー文化を守り続けていかなければならないと思います。

また、国際協議会のスピーチでジェニファー・ジョーンズ RI 会長が、「より良い世界を想像し、その実現のためにロータリーの力とつながりを活かし、行動に移しましょう。ロータリーの様な団体が、ポリオ根絶や平和の実現といった大きな夢を描くなら、それを実現させる責任は、自分たちにあります。イマジンとは、やさしさ・愛・希望・平和を想像し、明るい未来を描くことです。」と私たちに呼びかけられました。RI 会長のテーマ「イマジン ロータリー」に込められた「明るい未来への熱い想い」をしっかり受け止め地区スローガンを

「ロータリーの心と原点」を大切に 描こう明るい未来を サブタイトルに

「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」とさせていただきます。

ロータリーの心とは

① 親睦：寛容の心を基盤とした友愛・信頼の心

② 2つのモットーである

例会報告

- ・超我の奉仕
- ・最もよく奉仕する者、最も多く報いられる

③ 四つのテスト (職業奉仕の行動指針)

ロータリーの原点とは、先ほども申し上げたように
高い倫理基準・道徳心を持った人づくり

「魅力あるロータリアン」を一人でも多く育て、魅力あるクラブづくりに繋げていきましょう。時流に流されず、心豊かで平和な社会を心に描き、その実現に向け自分たちの信じる道を堂々と歩んでいきたいと思ひます。

次に地区活動方針について発表させていただきます。

- ① RI 会長テーマ「イマジン ロータリー」及び協調事項の推進
- ② RI 戦略計画を推進
- ③ 会員増強・会員維持・クラブ拡大
- ④ RI ロータリー賞への積極的なチャレンジ
- ⑤ 青少年育成の推進
- ⑥ ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解・推進
- ⑦ 米山記念奨学事業への参加と支援

詳しい内容については7月号の月信をご覧ください。ここでは、強調事項と検討事項のみ説明させていただきます。

強調事項は

① 地区の女性会員比率8%達成を目指す

RI の目標： 2023年6月末 女性会員比率 30%達成となっています。110か国はすでに女性比率30%を達成しています。

日本の平均は約8%で、世界の平均は25%となっています。残念ながら当地区は女性会員比率5・7%です。1クラブ1名の女性会員を増員していただきますと目標の8%になります。

② マイロータリー登録率 50%達成を目指す

当地区のマイロータリーの登録率は現状25%弱です。日本の平均が40%くらいです。マイロータリーには参考になるリソースが多く含まれていますので是非活用していただきロータリーの知識を深めていただきたいと思います。

実施事項として

1. ラッピングバス・プロジェクト

市内を走るバスに「END PORIO・ポリオ根絶まであと少し」の図柄を貼り付けて、ラッピングバスとして市内を走ってもらうプ

ロジェクトを開始します。9月7日に出発式を、岐阜、三重で執り行いました。このバスを見て、ロータリーのポリオ根絶活動を多くの市民に知ってもらい、ポリオ募金活動の推進、ロータリーの公共イメージの向上につなげていきたいと思っています。

2. グループ単位でポリオ根絶の街頭募金活動の実施

一人でも多くの市民にポリオ根絶の募金に協力していただけるよう頑張りたいと思っています。こうした活動内容を、新聞、SNSなどのメディアを使って発信していただき、ロータリーの公共イメージの向上、さらにはクラブの活性化に繋がればよいと思っています。

最後に、地区大会のご案内をさせていただきます。日程は10月22、23日の土曜日・日曜日です。場所は、長良川国際会議場、都ホテル岐阜長良川。ご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして、公式訪問卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

< 謝辞 >

高山RC会長 養谷 雅彦

本日は、高橋ガバナー始め、地区役員の皆様におかれましては、遠路はるばるお越し下さり、昨晚の役員懇親会、本日前の会長幹事懇談会、そして3RC合同の公式訪問例会にご参加くださり誠にありがとうございました。

コロナ禍の中、3年ぶりにRC合同のガバナー公式訪問例会が実現でき大変嬉しく思います。ホストの西クラブの皆様、設営などありがとうございました。

まずこのコロナ禍の空白の3年間を埋めていくため、これから開催される、IMや、地区大会を通して、親睦を深め、新たな成長を目指していくことが大切と感じています。

また、会場でお会いすることもあると思います。その時はどうぞよろしくお願ひ致します。本日はありがとうございました。

